



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE
T O S Y ' S
 東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
 チャーター認証日 1989年5月 2日
 チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
 2-18-12, NISIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
 PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00
 (但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
 第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

2026年3月号ブリテン 第421号

会長 小山久恵
 副会長 大谷博愛
 書記 御園生好子
 会計 大森裕子
 直前会長 御園生好子
 担当主事 鳩山哲郎

2025-2026 年度主題(Thema)

Our Motto 国際標語
 国際会長 エドワード・オン
 アジア太平洋会長 田上正
 東日本区理事 山下真
 あずさ部部長 山口直樹
 サンライズ会長 小山久恵

IBC: 台北ユニオン DBC ; 東広島・京都プリンス
 「信念、愛、行動」
 「共に、より強く」 (シンガポール)
 「信念と愛を持って行動しよう」 (熊本)
 「ワイズのらしさ再発見」 (十勝)
 「垣根を低くし、活発な活動を」 (武蔵野多摩)
 「例会の出席を第一としよう」

3月第一例会のお知らせ

3月は東山荘における伊東クラブ・京都プリンスクラブ DBC 交流会に合流して第一例会を行います。
 日時: 3月20日(金) 場所: 東山荘

3月以降の予告

3月24日(火) 第二例会をお散歩例会とします。
 場所: 六義園周辺
 4月25日(土) 富士五湖クラブフライングディスク大会に参加後、第一例会として合同例会を山中湖センターで行います。
 3月のハッピーバースデー 2月例会出席者
 大森 裕子さん 3月5日 9名(出席率69%)
 長津 徹さん 3月18日

18時近くになって、長津さんの司会によって例会は始まりました。舎生にワイズを知ってもらいたいということもあって、開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条などの開会セレモニーは何一つスキップすることなく執り行いました。



二月第一例会(学舎との鍋例会)報告

大谷博愛

二月第一例会は恒例で山手学舎との鍋パーティーですが、今年も2月12日に行われました。事前に役割分担した以外の当日の買い出しや会場設営はメンバーと舎生が協力して行い、準備の段階から交流は始まりました。

本番の鍋は寄せ鍋、キムチ鍋、水炊きの3種類が出されました。出席できなかったメンバーの松本さんから野菜の差し入れ、江原メネットからたくさんの魚の差し入れがあったため、寄せ鍋は普通のお店より豪華なものになりました。会もたけなわになったところで、舎生が一人ずつ山手学舎に入って学んだことを語り、入舎希望者の紹介を訴えました。飲食を伴う会はお互いの垣根を取り除いてくれるので、出席したメンバー、舎生、ゲストはみなさん溶け合って鍋だけではなく交流を十分に楽しむことができました。



出席者はメンバーが今村さん、江原さん、大森さん、小山さん、菰淵さん、柴田さん、長津さんご夫妻、御園生さん、大谷、準メンバー正村さん、舎生が西尾さん、酒井さん、繁田さん、李さん、ゲストが山口部長、久保田さん、蔵知さん、榊原さんの計19名でした。

2月第2例会報告

長津徹

2月第二例会は24日(火)17時より山手センター205号室で行なわれた。

今後のスケジュール

3月20日、東山荘にて伊東クラブ・京都プリンスクラブDBC交流会に合流して第一例会を行う。

3月24日、第二例会を巣鴨・六義園近辺
担当 蔣淵

4月25日、第一例会 富士五湖クラブフライイングディスク大会に参加、合同例会を前提として山中湖で行う。

ユースサポートファンド

今までの予算範囲内で支出する。会長と会計に一任。

例会卓話者謝礼の件

非公開/議事録に記録

区大会参加者確認

ブリテン振り割り

出席者 今村、小山、江原、大谷、菰淵、柴田、長津、御園生

ひよこのつぼやき vol:273

小さな教室の大きな希望

所沢クラブ

大澤和子

2019年、サンライズクラブの卓話にお招きいただき、「一人ひとりに寄り添う学習支援」というテーマでお話をさせていただきました。当時の資料を見ると、不登校の児童生徒数は約14万人でした。ところが2025年には36万人と、子どもの数が減っているにもかかわらず約2.6倍に増えています。さらに子どもの自殺者数は532人。G7の中で子どもの死因の第一位が自殺なのは日本だけと言われています。それだけ生きづらさを感じている子どもが増えているのかもしれませんが。

小学校教員を退職後に始めた学習支援教室「ジョイスタディー」には、不登校を経験した子どもたちも多く通っています。しかし、今はそれぞれ自分の道歩んでいます。「絶対この家から出ません」と言っていたAさんは高校で校長賞を受け、社会人として活躍しています。オール1と言っても過言でない成績のB君は努力して数学で90点台を取り、現在はプロのテニスプレイヤーです。今一番若いスタッフとして手伝ってくれているC君は、有名高校で不登校を経験しましたが、自分の特性(あえて「障がい」という言葉を使わずに)を理解し、得意な英語や音楽、絵画を生かしてフリーランスとして活躍しています。

教員時代は子どもたちと関われるのは1、2年でしたが、ここでは幼稚園から高校まで10年以上成長を見守

ることもあります。子どもたちが少しずつ自信を取り戻していく姿を見ることは、何よりの喜びです。

2020年には活動の名称を「一般社団法人ジョイサービス」とし、子どもも高齢者も安心して集える地域の居場所をつくりたい—そんな思いで、夢はさらに広がっています。

どんな子どもも、寄り添う大人がいれば、もう一度歩き出す力を発揮できると信じています。

山中湖センターの様子

荒木 暁

今年の2月は断続的に雪が降り、山中湖センターや山中湖一帯は真っ白な冬景色に包まれ、冬ならではの美しい景観を楽しむことができました。先月より凍り始めた山中湖は、さらに凍結範囲を広げ、湖面の約3分の1が凍っていたように思われます。厳しい寒さが続く中でも、少しずつ日差しが暖かくなり、時折、春の訪れを感じるようになってきました。

3月は第1週目よりお客様にご利用いただく予定です。寒さが残る山中湖センターではありますが、心を込めて温かくお迎えしたいと考えております。まだ修繕や補修が必要な箇所もありますが、皆さまが快適にお過ごしいただけるよう、細やかな気配りを大切にまいります。これからも雪が降る季節ではありますが、3月、4月になると桜の咲く季節を迎えます。あの美しい桜が見られると思うと、春の訪れが待ち遠しく感じられます。四季折々の自然を感じることでできる山中湖センターの魅力を、より多くの方に味わっていただけるよう、今後も運営に力を注いでまいります。



YMCA ニュース

山手センター 鳩山徹郎

★いのちを守る現場から考える「ユースが輝く場」—ソシアスフォーラム開催報告★

ユースが輝く場とは、どのような場でしょうか。その問いを胸に迎えた今回のソシアスフォーラム。1月31日に山手コミュニティーセンターとオンラインで開催され、東京 YMCA の会員やユースボランティアリーダーなど78人が集いました。基調講演の講師には、社会福祉法人賛育会「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」事務局長の大江 浩氏をお迎えしご登壇いただきました。

海外で直面した「サイレント・イマージェンシー（静かなる緊急事態）」。2000年初頭には、3~4秒に1人の子どもが5歳の誕生日を迎えられずに亡くなっていく現実がありました。そして日本国内での、妊娠に悩み、孤立し、誰にも相談できないまま出産に至る女性たち。「0日の虐待死」という言葉が示す厳しい現実には、参加者は深く耳を傾けていました。

その現実に対し、賛育会では「妊娠したかも SOS 賛育会（夜間匿名電話相談）」「内密出産」「ベビーバスケット（通称：赤ちゃんポスト）」という3つの事業に取り組んでいます。批判もある中で、それでも「目の前のいのちを守る」という決意。その背景には、東京大学 YMCA を母体として始まった100年以上続くセツルメントの精神と、「弱い立場に置かれた人の側に立つ」という信念があります。「この活動が、いつか不要になる社会を目指している」大江氏のその言葉は、VISION150が描く未来と重なります。ユースが輝くには、「子どもが安全に生まれ、安心して育ち、孤立せずに生きられる社会」という土台が必要です。その土台を守る営みが、今も続いています。

<YMCA ニュース>

<https://tokyo.ymca.or.jp/news/2026/02/20260220-1.html>





★2026 サマーキャンプスタッフ募集（ニューヨーク州）
6/20～8/21★

フロストバレーYMCAは、ニューヨークから車で3時間ほどのキャッツキル自然保護区域内に位置し、山手線一周以上の面積がある北米屈指の広大なキャンプ場です。東京 YMCA は長年にわたってこのフロストバレーYMCA にスタッフを派遣し、在米日本人家族のためのキャンプなど、日米の相互理解を目指して活動を続けています。キャンプには毎年、転勤や国際結婚などによってアメリカで暮らす子どもたち約300人が参加。日本語でのキャンプを満喫します。

「久しぶりに日本語で話せてうれしかった」「同じ境遇の仲間に出会えた」など、文化と文化の狭間で育つ子どもたちにとって貴重な体験の場となっています。

2026年度、サマーキャンプスタッフの募集・選考のご案内です。

スタッフの役割など要項詳細は以下のとおりです。

[2026 サマーキャンプスタッフ募集要項](#)



★【参加者募集】第35回チャリティーゴルフ大会 4/28
開催（支援が必要な子どもたちのために）★
東京 YMCA では毎年4月、[チャリティーゴルフ大会⇒](#)

を開催しています。

1990年から毎年多数の方々のご参加・ご協賛をいただいで継続しており、おかげさまで今年で35年目を迎えました。

支援が必要なウクライナの子どもたちと国内の子どもたちのために開催します。

ウクライナ YMCA の様子は[こちら⇒](#)

フレンドシップファンドは[こちら⇒](#)

プレーを楽しむことが社会貢献になります。

会員だけでなく、どなたでもご参加いただけます。ぜひご知友お誘い合わせの上、お越しください。お待ちしております。

【日 時】 2026年4月28日（火）午前7時53分（予定）スタート

*各組のスタート時間はお申し込み後にお知らせします。

【会 場】 PGM 総成ゴルフクラブ

千葉県成田市西和泉729 TEL：0476-36-1556

詳細は、こちら→[チャリティーゴルフ大会⇒](#)からどうぞ。



後記

ブリテン 3月号をお届けします。3月に入り、まだまだ寒い日もありますが日が長くなり、少しずつ春の息吹が感じられるようになりました。先日は犬の散歩中に沈丁花の香りがして、春の訪れを実感しました。ニュースなどによると、今年の桜の開花は早そうとのことですね。皆さまは、お花見の計画など立てられているでしょうか。私はいつか、日本三大桜の一つに数えられる福島県の三春の滝桜を見たいと思っていますが、今年は実現は難しそうです。

なお、今回のひよこのつぶやきは所沢クラブの大澤和子さんに書いていただきました。お忙しいなか、ありがとうございました。教員を退職なさってからの様々な支援活動に頭が下がる思いです。これからも、お体に気を付けて頑張ってください。

